



秋田市パートナーシップ宣誓制度

パートナーシップ宣誓制度は、婚姻制度のように法的な権利や義務が生じるものではありませんが、秋田市では、お二人の思いを尊重し、自分らしく、いきいきと生活できるよう応援するため、婚姻に準じた関係として「秋田市パートナーシップ宣誓制度」を導入しています。

対象のかた

お一人またはお二人がLGBTQのかたで以下の条件を満たすかたが対象です。

- ① 成年に達していること
- ② お二人のうちどちらかが市内に住所があること
- ③ 配偶者がいないこと
- ④ 宣誓する相手以外のかたとパートナーシップ関係にないこと
- ⑤ 民法に規定する婚姻をすることができない続柄にないこと

利用できる秋田市のサービス

- 市営住宅への入居申込
- 市立秋田総合病院における面会
- 住宅リフォーム支援事業の補助金の交付 など

こちらは利用できるサービスの一部です。詳しくは市ホームページをご確認ください。

市民・事業者の皆さまへのお願い

本制度の対象となる方々は、「家族で利用できる会社の福利厚生が使えない」、「パートナーへの医療行為に家族として同意できない」などの困難を抱えています。本制度の趣旨をご理解いただき、適切なサービス・対応を受けることができるよう、ご協力をお願いします。アライの輪を一緒に広げていきましょう。

地域のアライ企業の取組紹介

株式会社イヤタカ

多様な性に関する理解促進を目的とした従業員教育

自社施設や県内観光地でのロケーションフォトやセレモニーなどのウェディングプランの提供

ブライダルユニット 伊藤 新太郎さん

人生のパートナーとなったお二人へ、その記念として心に残るものをご提供したいと考えております。ウェディングを通して、絆が深まり、人生がより豊かなものとなるようお手伝いをいたします。

株式会社境田商事

秋田市パートナーシップ証明カードの提示で【食器のさかいだ】店内商品5%オフ（一部商品除く）【ティールーム陶】ドリンク半額

何回でも使用可能

取締役 境田 末希さん

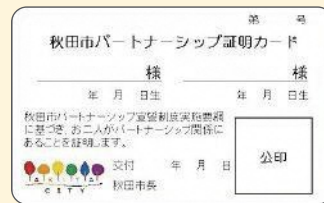
食器を通じた様々なお客様との出会いを大切にしています。年齢や性別、国籍も違うお客様に対して差別や区別はありません。多様性を受け入れ、どの方にも広くご利用いただける場所でありたいと考えています。

申請窓口

秋田市市民生活部生活総務課

宣誓の手続きの流れや制度の詳細は生活総務課にご相談いただくか秋田市ホームページをご覧ください。

証明カードを交付します



このカードの提示を受けられた方へ

カードの提示を受けられた方は、この趣旨を十分にご理解いただき、この制度を利用する方の性のあり方（性的指向や性自認等）や本制度を利用していることについて、本人の同意なく口外しないようお願いいたします。

いろいろな性

LGBTQを知るコト。

LGBTQ（性的少数者）の人は、自分の身近にはいないと思っていませんか？

性は個人の尊厳にかかわる大切な問題です。偏見をおそれて、周囲の人に伝えられていない人も多く、本当の自分を隠していることがLGBTQの人の「生きづらさ」につながっています。誰もが尊重され、いきいきと暮らすことができるよう、いろいろな性について、知ることから始めてみませんか

性のあり方はみんなちがうよ

性のあり方は4つの要素があると言われてます。からだの性以外の性のあり方は、「女」「男」の明確な分け目はなく、グラデーションのように境界線がないものと言われています。それぞれの性のあり方が合わさって「その人らしさ」になります。

二つの性別だけではない「男らしさ」や「女らしさ」でもないみんなの「自分らしさ」を大切にしませんか



LGBTQ

エル・ジー・ビー・ティー・キュー

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー・クエスチョニングの頭文字をとった性的少数者の総称の一つ

レズビアン

Lesbian

女性として同性である女性を好きになる人

ゲイ

Gay

男性として同性である男性を好きになる人

バイセクシュアル

Bisexual

女性を好きになることもあれば、男性を好きになることもある人

SOGI

ソギ・ソジ

性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字からとった、全ての人が持っている性のあり方・属性のこと。性的少数者とそれ以外とで分けない考え方

トランスジェンダー

Transgender

生まれたときに割り当てられた性別と違う性別で自分を認識している人

クエスチョニング/クィア

Questioning / Queer

自分の性別が明確でない人、決めていない人など。既存の性のカテゴリに当てはまらない人々の総称。

ジェンダー

Gender

男らしさ・女らしさや性別役割などの「社会的・文化的な性のありよう」のこと

いろいろな性

性自認が男性にも女性にも当てはまらない「Xジェンダー」や、誰かを好きになるときに相手の性別を問わない「パンセクシュアル(全性愛)」など、多様な性があるため、LGBTQ+と表現することもあります。

にじいろマーク

LGBTQの象徴である6色の「レインボーフラッグ」と秋田市の木「けやき」をモチーフにしたマークです。このマークは、秋田市パートナーシップ証明カードなどに使用しています。

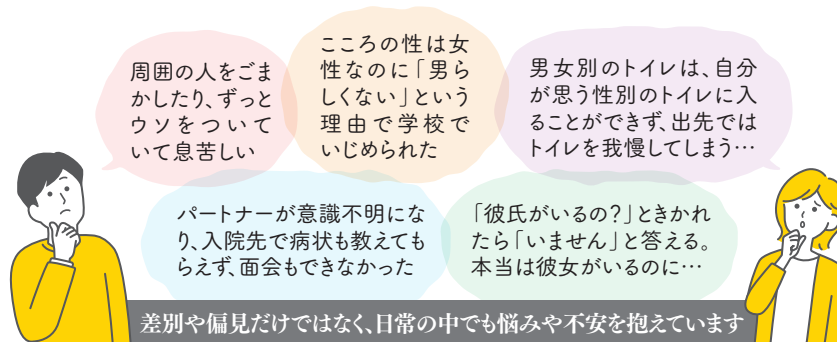
！あなたが気づいていないだけかも

民間の調査では、日本人のおよそ10人に1人がLGBTQであるという結果があり、ほとんどの人は自身の性を周囲に打ち明けていません。性のあり方は見た目ではわからないことが多いため、自分の身近にLGBTQの人がいるのに、気づいていないことがあるかもしれません。

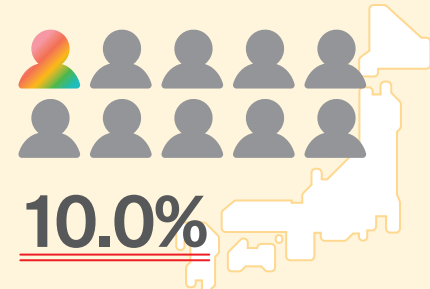
！どうして打ち明けられないの？

自分の意思で、自身の性のあり方をほかの人に公表することを「**カミングアウト**」と言います。カミングアウトはとても勇気のいる行動です。打ち明けることで拒絶されるかもしれない、いじめにあうかもしれないと思うと、簡単にできるものではなく、強要するものではありません。

また、本人の同意なく性のあり方を他人に暴露する「**アウティング**」は、プライバシーの侵害であり、絶対にしてはいけません。

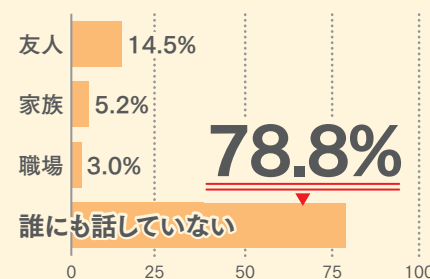


日本におけるLGBTの割合



LGBTのカミングアウト率

Q. 自身の性的指向や性自認について、どなたかにカミングアウト(公表)したことがありますか? (複数回答)



【参考】株式会社LGBT総合研究所「LGBT意識行動調査2019」
対象：20歳～69歳の計347,816人

言葉にできない “サイン”を見逃さないで

市立秋田総合病院
小児救急担当科長 高橋 まや先生

日本小児科学会専門医、指導医、日本小児科医会「子どもの心」相談医、
臨床遺伝専門医制度委員会認定臨床遺伝専門医

Q1

性別の違和感はいつ頃から気づきますか?

A 一般的には、同性同士で遊び始める3～6歳頃からです。しかし、性自認はどこの時点で決まるわけではなく、誰もがゆれ動き続けるものです。二次性徴期の体の変化に違和感を感じる人や、制服の着用のように社会的・文化的な性のあり方に苦しみ、高齢になってはじめて気づかれる人などさまざまです。

Q2

サインとしては、おもちゃの選び方や一緒に遊ぶ友人の性別などが挙げられます。もしそこで周囲の大人や友人から「それはあなたが選ぶものではない」と否定されると、自分が全否定されていると感じ、自己肯定感の著しい低下に繋がります。また、自分の体への違和感からの孤立や抑うつ、さらに非行や不登校、無防備な性行為、自殺衝動などがサインとしてあらわれます。

お子さんのサインを感じたら、医療機関へ相談することも選択肢の一つとして考えてみてください

Q3

家族や周囲はどのように受け止めたらいですか?

A すぐに理解ができなくても、否定せず、寄り添いながら話を聞くことです。LGBTQは病気ではありません。過去には性同一性障害という用語が用いられてきましたが、今はWHO(世界保健機関)が病気ではないことを認め、現在では「性別違和」や「性別不合」という言葉に変わっています。すぐに受け入れることは難しいかもしれません。それでも、隣に座り耳を傾けて、一緒に考えることはできるはずです。

LGBTQの人は身近にいます。「自分は会ったことがない」と言い切るのをやめてみませんか

自分らしく、あなたらしく にじいろあきた ワークショップ



参加者からは、「LGBTQについて知るだけでなく、気持ちに寄り添うことが大切だと感じた」、「秋田市内のアライ企業の取り組みが広く浸透してほしい」などの声が寄せられました。今後も、誰もが自分らしく生きることができるまちづくりに取り組んでいきます。

秋田市では、多様性を認め合う社会を目指して、「アライの輪」を広げる取り組みを進めています。

LGBTQへの社会的偏見や差別をなくし、市民の理解促進を図るため、色々な“自分らしさ”を見つけるワークショップを開催しています。

にじいろインタビュー その人らしさを 見てほしい

LGBTQの
Xジェンダー(中性) らっしーさん

2019年より秋田の情報を発信する秋田のプロガー
として活動。LGBTQ当事者として講演やイベント等
を行っている。秋田プライドマーチ共同代表。

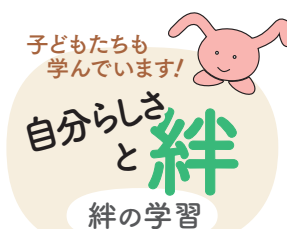


自分は自分でもいい

私は自分をXジェンダーの中性と認識しています。男性のときもあれば女性のときもあり、そのどちらでもないときもあります。もともと自分を中性と認識する前の性自認は男性でしたが、自分には女性的な面があることも気づき、「じゃあ自分って何なんだろう?」とアイデンティティの揺らぎを感じることがありました。そうした中で「女性でも男性でも関係ないよ」と受け入れてくれた周りの人たちがいたことから「自分は自分でもいいんだ」と思えるようになり、自分はXジェンダーの中性だと伝えていこうと決めました。

私にとっての「アライ」

はじめてカミングアウトをした相手は中学の同級生の男子です。受け入れてくれて気が楽になり、救われたことを覚えています。家族には反応が怖くてなかなか打ち明けられませんでした。実は子供の頃から気づいていたようで、今では応援してくれています。前の職場でもみんなが肯定してくれて、それが自分を発信する大きな力になりました。今思えば、私の周りにはたくさんの「アライ」がいました。偏見を持たずその人個人を見てくれる「アライ」の存在がどれだけ救いとなり、心の支えとなっているか。LGBTQという言葉が徐々に浸透してきて、世の中は確かに変わってきています。しかし、その中身を理解している人はまだまだ少ないのが現実です。自分には無関係だと思わず、もしかしたら自分の大事な人が当事者かもしれないと思って考えてくれたら嬉しいです。



子どもたちも
学んでいます!
小学校高学年の児童を対象とした「絆の学習」では、「自分らしさと絆」をテーマに、お互いの個性を尊重し、認め合って共に生きていくことの大切さを学んでいます。

無意識は偏見のもと 講師 あんぽ なつこ 安保 奈都子さん

「普通」や「当たり前」のものさしは一人ひとり違います。大事なはそのことに気づき、自分の価値観を押しつけるのではなく、お互いの違いを認め合うことです。性のあり方も人それぞれ。「女だから」「男だから」とらわれず「自分らしさ、その人らしさ」を尊重してほしいです。また、セクシュアリティに限らず髪や肌の色、体型なども否定しないことを伝えています。「どんなあなたも大切なあなた。人と違うことで自分を嫌いになることはやめよう。ありのままがいいんだよ」ということを届けられたらと思っています。

今日からはじめる!

Aily チャレンジ!

challenge

1 自分の身近にもLGBTQの人がいると考える

「いない」という思い込みが、誰かを無意識に傷つけてしまう行動につながります。あなたの大切な人も、心の中で悩んでいるかもしれません。



challenge

2 差別的なことばに同調しない LGBTQをからかいのネタにしない

偏見にもとづくからかいや、差別的な発言を耳にしても、同調しないようにしましょう。当事者は周囲の無理解に悩み、相談ができない環境にあることにますます苦しみます。

Good! そういう言い方は良くないですよ

challenge

3 見た目や声で相手の性別を決めつけない

こころの性は見た目や声では分かりません。性別が限定されない表現をしてみましょう。



Good! 少しいい言い換えがやさしさです。
旦那さん/奥さん → 配偶者/パートナー
お父さん/お母さん → 保護者のかた
娘さん/息子さん → お子さん

challenge

4 先入観で「ふつう」を決めつけない

性のあり方は人それぞれです。「男らしさ」「女らしさ」が固定観念による思い込みであるように、たとえば「同性愛者なら〇〇だ」という決まった答えはありません。目の前にいるその人の気持ちと、「その人らしさ」を大切にしましょう。

Good! 私にできることはある?